

タイトル：第5回 2016年10月7日（金）『税・財政ゼミナール』開講しました

2016年10月7日（金）第5回『税・財政ゼミナール』が開講されました。

今回のテーマは『税制研究』NO.58より

① 政府の大借金をどうする：安藤実

② 問題提起のための2つの提案

-国債問題の徳政令的解決と北欧型の「大きい政府」の創出- : 小谷崇
の2つです。

①では世界で一番である借金の山を日本政府が築くこととなった原因の一つである建設公債の成り立ちと問題点について論文をまとめ、報告が行われました。

②では国債問題について、「国の債務残高」が過去最高水準であること、世界的に見ても異常に高い数字であることについて資料を基に説明が行われました。また、論文のテーマである国債問題の解決策についてまとめ、報告が行われました。

次回は税制研究70号(2016年8月発行)について学習します。最新号(2016年10月現在)を使用する学習になりますので、税制・財政の問題点の今を知ることができる内容となる予定です。税や財政に関して少しでも興味のある方、税や財政について知りたいと思われている方は、是非ご連絡をお願いいたします。

次回のテーマは次の2点です。

『税制研究』NO.70 第70号記念号 より

① 政治資金と税制：浦野広明

② ヨーロッパにおける付加価値税の抜本的見直し論：湖東京至

第6回『税・財政ゼミナール』

日時：2017年4月 未定 15：00～17：00 ※決まり次第ホームページで公開します

会場：東京都新宿区三栄町9番地 税研ビル2階

応募：事前に電話にて参加の旨をお知らせください

TEL 03-3359-4731 (担当者：矢部、山本)